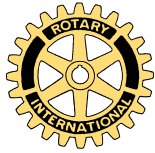


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2574回例会プログラム

[当年度=16回目；当月=3週目]

2007年（平成19年）11月19日(月)

1. 例会 …… 〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘 …… 〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/26) ……休会
(クラブ定款第5条第1節(c))
(12/3) ……新入会員アワー 杉山 拓央 会員
" 小林 裕幸 会員

2. クラブフォーラム …… 〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話 卓話「ロータリー財団の役割」
講師 地区ロータリー財団委員会
委員長 深谷 友尋 氏(名古屋みなとRC)
(紹介者 竹内 一郎 会員)
13. 謝辞
14. 点鐘 …… 〈会長〉
15. 閉会宣言
- 13:30 16. 散会

ゲ ス ト

フロンヴィル株式会社
社長秘書 山田 空美子 様

出 席

会員総数 90名 出席免除 19名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 7名 出席率 91.95%
前々回(11/5)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 11月17日、18日と地区大会が開催され、出席をして来ました。37名の登録を頂きました当クラブの会員も多数出席して頂きありがとうございました。

幹 事 報 告

- 1) 本日例会終了後、事務局にて第6回理事会を開催いたします。関係の方は出席をお願いします。
2) 11月15日のGSE フランスチーム6名の受入れ刈谷RC担当日は、渡邊敏男会員のご協力と竹内一郎R財団委員長の参加のもとに、デンソー本社ギャラリーの見学と高棚製作所の見学並びに社員食堂での昼食を無事終了しました。フランス人メンバーも、専門的な質問を積極的に行ない、有意義であったと感想を述べていました。午後からのオプションの乗馬体験もリーダー以外5名のメンバーが参加し、リフレッシュ出来たと好評でした。



会長あいさつ

橋本 恭典



昨日一昨日と2760地区、地区大会が挙行されました。初日は名鉄犬山ホテルで、2日目は2,800人にも上る大勢の会員の参加がございまして、パークアリーナ小牧で盛大に行われ、また成功裏に終了いたしました。参加されました会員の皆様、どうもありがとうございました。私は2日間充実した勉強が出来、多くの収穫がございました。

少しご紹介させていただきますと、昨年の暮れに函館でメイクアップした時、隣の席の方といろいろお話をさせていただきました。その方は「今日は卓話の当番でCLPについての話をします」とのことで、刈谷はどう取り組んでおられるかのご質問。私はCLPがクラブ・リーダーシップ・プランの頭文字であること以外はまったく知らずにいましたので正直にお話しし、たまたま所持していた名簿の裏の組織表をお見せしました。

北海道では少人数のクラブも多く、刈谷クラブのような組織ではやっていけない所もあるので、いまCLPを勉強しながらクラブの活性化を図っていく、とのことでした。その方が2510地区ガバナーの酒井さんで、今回わざわざ函館からこの地区大会にこられてお見えでした。初日の晩餐会の時ご挨拶いたしましたところ、よく覚えて下さっていて感激しました。酒井さんは「ロータリーは分かちあいの心」ではならず、「分かちあいの心をもって実践すること」をご自分の今年のテーマにしているとのこと。江崎ガバナーからも同期のガバナーは横の連絡をメールでやりとりしながらロータリーを勉強しかつ実践しているとのことでした。ガバナー同士の強い結びつきでのご来訪と拝察する次第です。

指導者育成セミナーの中で岡部パストガバナーからもCLPのお話があり、少人数のクラブを活性化するばかりではないので一度じっくり勉強してみても？とアドバイスもありました。私自身がCLPは刈谷クラブには関係ないかと早とちりしていました。現状うまくまわっていると思われる当クラブのようなところでも、年に1-2回しか会合のない委員会がありますので、少しは取り入れ改善を図れば、確かに活性化することも学ばせていただきました。今年度中に一度は勉強するための卓話の時間を取りたいと思います

本日は地区ロータリー財団委員長でいらっしゃいます、深谷友尋さんのお話を承ります。委員長には、地区大会の記念シンポジウムのコーディネーターや、今月は財団月間なので連日の各クラブでの卓話、またGSEメンバーがフランスから来ておりますので、そのアテンドなど委員長のお言葉を拝借しますと、「どっぷりとロータリーに浸かっている」そうです。そのような連続する日程にもかかわらず、卓話をお願い致しましたところ快く引き受けていただき、誠にありがとうございます。地区の財団委員会に出席させていただきますと、シェア・シ

ステムとかマッチング・グラントなど聞きなれない言葉も度々耳にしております。今日は我々刈谷クラブの会員に、よろしくご指導お願い申し上げます。大変お忙しいところ、貴重なお時間を割いていただき卓話を戴きます深谷委員長さんに、改めて感謝を申し上げご挨拶いたします。



クラブフォーラム

卓話

「ロータリー財団の役割」

地区ロータリー財団委員会 委員長 深谷 友尋 氏



本日は伝統と格式ある刈谷ロータリークラブで卓話をさせていただきます機会をいただき、誠にありがとうございます。野村重彦パストガバナーはじめ、橋本会長、鈴木幹事、加藤年次寄付副委員長、竹内財団委員長さんにお招きを賜り厚く御礼申し上げますとともに、会員の岡本先輩にはGSEの研修生を派遣いただき、心より感謝申し上げます。GSE受け入れ担当分区として、大変お世話になりますがよろしくお願い申し上げます。

刈谷ロータリークラブでは、マルチプル・ポール・ハリス・フェローを4名の方に達成いただき、また前会長の盛田さん、前幹事の鈴木さんにベネファクターのご協力をいただきました。大変尊いご浄財をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、国際ロータリーのウィルフリッドJ. ウィルキンソン会長は、「私はロータリーの真髄は（分かち合いにある）と感じています。私たちは自分の時間、才能、そして資産を分かち合っています。私たちは、私たちのやさしさと愛を分かち合っているのです。ロータリーという分かち合いとは、自分に必要でないものを人にあげる、という意味ではなく、ロータリーでの分かち合いとは、あなた自身を、惜しげなく、人にとって役立つことのために捧げる、という意味なのです」と説いておられます。

地区ロータリー財団は、世界平和と青少年育成と紛争のない世の中を目指し、あらゆる努力を払っています。地区ロータリー財団委員会では、昨年度には会計をより明確化するために、公認会計士を監査役にお迎えし半期毎に監査していただく体制を整えました。

今年度は「説明責任」の大切さをテーマに、地区内81 RC 全ての地区ロータリー財団関連委員会の委員長・副委員長もしくは自クラブのロータリー財団委員長による卓話を実現し、財団がどのようなことをしているか、皆様によくご理解いただけるよう努めています。

「毎年あなたも100ドルを」のスローガンの下、皆様から頂戴している年次寄付は、RI ロータリー財団で保管され（シェア・システム）その後地区財団活動資金（District Designated Fund）と国際財団活動資金（World Fund）に分けられて、教育的プログラム・人道的プログラムの様々な活動に使われます。

Every Rotarian Every Year のスローガンが決議された2001年当時、地区の寄付額は1人当たり72ドルでしたが、年々増加し、2005年は108.67ドル、昨年は106.53ドルとなりました。刈谷ロータリークラブからは、地区内でも大変高い年次寄付額の1人当たり155.21ドルを頂戴しました。誠にありがとうございました。

本年度の募集基金目標は、地区の会員数が5,197名ですので、期内寄付は1人100ドルとしますと、519,700ドル。それにポール・ハリス・フェローを1クラブで2名、大口寄付者を地区で5名という目標を立て、総額731,700ドルを目標額としました。更に、運用益だけを通常の活動に使用する恒久基金へご寄付いただくベネファクターを1クラブ1名、計81,000ドルを是非達成したいと考えていますので、皆様1人ひとりのご協力をよろしくお願いいたします。

財団の財源は有意義な事業のため、皆様に是非ご利用いただきたいのがマッチング・グラントです。海外のロータリークラブと共同プログラムを行う際、クラブの事業予算と同額が財団から支給されるというもので、過去、日本のお金は発展途上国のプロジェクトへ流出しているのが現実でした。

しかし、西三河分区分等々には多くの河川、森、公園がございます。他国への援助も大切な奉仕ですが、刈谷または三河、ひいては日本でも取り組むべきことは沢山あります。海外クラブが2万円、自クラブが98万円でも、国際財団活動資金から100万円が下りてきますので、地域社会に大変貢献できると考えています。

ポリオ・プラスについては、既に20億人の子供達にワクチンを投与し、700万人の発症したであろう子供たちを救いました。地区としても、インド、パキスタンなどポリオが残る国々へワクチンを投与する活動を計画しています。

世界には寄付金を集め、ばらまく慈善団体が数多くありますが、ロータリーは実践哲学であり、ロータリアン1人ひとりの活動の財源として財団のお金がある訳です。今年度のウィルキンソン RI 会長が掲げる「無限の愛を捧げ合う」ためにはやはり財源が必要なのです。職業奉仕で周囲を、社会奉仕で地域を、国際奉仕で世界を幸せにしていこうというロータリーも、その真髄は同じだと思っています。

どうか、これからもロータリー財団をご支援ご指導賜りますことをお願い申し上げまして、私の卓話とさせて

いただきます。

第 6 回 理 事 会

I 会長挨拶 〈会 長〉

II 議 題

1. 12・1月のプログラム（案）について
〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
2. 新年例会並びに合同懇親会について
〈クラブ奉仕委員長〉
〈親睦活動委員長〉
3. 第8回そろばんフェスティバル後援について
〈職業奉仕委員長〉
4. 第3360地区ラオスへの贈り物について
〈国際奉仕委員長〉
5. AED トレーナー機について 〈社会奉仕委員長〉
6. ライラセミナー参加について 〈新世代委員長〉
7. 新入会員について 〈幹 事〉
8. 高浜 RC との合同例会について 〈幹 事〉
3 / 24(月) → 3 / 25(火)に変更
12:30 ~ 衣浦グランドホテル
9. その他
 - ・病気療養の出席免除者について
 - ・メイクアップ（Eクラブ）について